

第60回全国老人クラブ大会
厚生労働大臣表彰受賞



編集発行
竜王町老人クラブ
連合会
No.94



新たな繋がりに
向かって



会長 大野 稔

力強く萌芽の息
吹を感じる弥生の

侯、会員の皆様には益々ご壮健でお過ごしのこと、心よりお慶び申し上げます。日頃は本会に温かいご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。令和4年度は変わらぬ制約の中での本会運営で終えようとしていますが、新年度への新たな躍進に向けてたゆまず、果敢に取り組んでまいりたいと思っております。

冒頭の写真でお示した通り、このたび本会は、これまで優秀な活動を継続してきたと評価いただき、栄えある厚生労働大臣表彰状をいただきました。本会創立以来、初めての栄誉となります。

受賞式は昨年11月8日、東京両国・国技館で開催された全国老人クラブ大会の席上行われました。この大会が全老連創立六十周年の節目の年でしたので、天皇皇后陛下、内閣総理大臣、衆参両院議長など政府要人も多く見えられる式典と

なりました。その席に私も出席させていただきました。この賞は、本町老ク連の会員全ての皆様、そしてそれをリードしてくださった歴代の町老ク連会長・役員の皆様さま、単老ク会長と役員の皆様全員のこれまでの惜しみないお力添えの賜物に他なりません。

会員の皆さま全員で栄誉と喜びを共にしたいと思えます。そしてこの表彰は、これからも頑張れと力強く激励されたものでもあったと思っております。

他市町老ク連に比べて年次ごとの会員の減少割合はやや緩やかで、それが受賞理由の一つでもありましたが、現実には近未来の組織維持にかなり危惧すべき様相を示しています。

そんな状況であればこそなお、さらに皆様のご英知とご協力をいただき、町老ク連と、支えていただいている各お在所の単老クとが、より連携を深め、より健康で、ともに笑いともに支え合う組織を目指したいと考えております。



町行政の情勢と

老人クラブ活動に期待するもの

竜王町長 西田秀治



竜王町老人クラブ連合会の会員皆さまには、

ますますご健健で活躍され、竜王町のまちづくりにご尽力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、竜王町では、第六次竜王町総合計画では、十年後のあるべき姿「若者も暮らしたい 希望かなえる 輝竜の郷」へ心弾む新時代へのチャレンジの実現に向けたまちづくりを進めております。子どもから高齢者まで竜王町に関わるすべての人が、地域に愛着を持ち、それぞれが活躍しながら、将来も継続して住み続けたいと思えるまちを目指します。

近年の少子高齢化による人口構造の変化に伴い、地域社会を取り巻く環境が大きく変化していることで課題が多様化しております。竜王町では、介護予防と健康づくりの一環として生涯現役事業や健康づくり活動の推進等に取り組んでおります。貴連合会の活動にお

いても、生きがいづくりの一翼を担っていただいているものと考えています。また、いくつになっても住み慣れた地域で安心、安全に暮らし続けたいと思っております。ために、介護保険サービス提供のための介護人材の確保と定着促進に向けた取組も行ってまいります。

今般の新型コロナウイルス感染症はいまだ収束したとはいえない状況が続いておりますが、貴連合会では、感染対策を講じながら事業を開催していただいていることを感謝申し上げます。貴連合会の会員皆さまにおかれましては、お一人おひとりが、今日までの歩みの中で培われた豊かな知識や技術を生かした地域活動に積極的に取り組んでいただいております。今後も地域社会を支え貢献いただくことにご期待申し上げます。

結びになります。竜王町老人クラブ連合会の益々のご隆昌と会員皆さまのご健康を心からご祈念申し上げます。

愛称検討委員会

新愛称「いきいきりゅうおう」に決定

委員長 西村明夫

今年度7月に竜王町老人クラブ連合会愛称委員会が発足しメンバー11名が選出されました。今回の愛称委員会は「あり方検討委員会」の中で会員減少の理由の一つとして老人会や老人クラブという名称が加入の妨げになっているとの意見を踏まえ、会員や町民から親しんでもらえる愛称を策定したいとの思いから発足致しました。

「明るく、楽しく、活動的なこと」がイメージできる「愛称」を念頭に委員会での意見集約に加え、広く会員各位からの意見もお聞きし、8/15付けの広報「竜寿の友」で愛称募集の記事を掲載させて頂きました。結果として応募者数は13名で応募作品は105点になりました。応募いただいた方々に厚く御礼申し上げます。応募作品を委員会で慎重且つ丁寧に審議した結果、一番応募数が多く委員会評価の高かった「いきいき」と

いう標語に「りゅうおう」を加えて「いきいきりゅうおう」に意見集約され、12月開催の運営委員会に愛称募集結果を答申し決定させて頂きました。

この愛称が広く・早く会員の方々に浸透し、日常的に呼び合える日を待ちわびております。

結びになりますが、今回の愛称決定は老人クラブ連合会推進の決定打ではありません。超高齢社会に突入しているにも関わらず全国的に見ても老人会の会員数は年々減少の一途を辿っております。その背景として、ライフスタイルの「個人化」など、時代環境の変化が大きく影響しており、老人クラブの魅力の低下を考える必要があると思っております。全員が当事者視点に立って、もっともっと知恵をしばって、老人クラブを魅力ある集団にしていきたいと考えております。

近未来の竜王町老人クラブ連合会のあり方について

令和2年10月に組織されましたあり方検討委員会（以下、委員会という）において議論を重ねてきましたが、竜王町老人クラブ連合会（以下、町老ク連という）の今後のあり方について、次の通り答申します。

委員会として町老ク連の近未来の問題解決のための対策を、行事・事業、役員・組織、会員・会の名称などの具体的側面からそして全体的な側面からの四つのグループに分け、答申書として添付のとおりまとめました。

委員会としては、委員会が提出した近未来の短期的対策の取り組みを要望する一方で、さらに町老ク連を永続させるための長期的な方策を引き続き検討いただきますことを要望します。

■グループ1：行事・事業

- 1 単老クや会員の意見や希望を取り入れた事業となるように全体を見直し、新しい事業の導入マスタープランを作成する。
- 2 各スポーツ系事業を再点検し、得点を重視しがちとなっている運営方法や参加条件設定などに必要な改善をする。
- 3 娯楽・教養・健康の要素を混在させた総合的な事業「シルバーカレッジ」を創設し、会員が個別に自由に参加できる事業として令和4年度から段階的試験的に導入し、活動を定着させる。
- 4 会員の有志メンバーが自律的に自主運営する小集団活動「シルバーサークル」の仕組みを創設し、同好の会員が自由に参加し活動できる場を提供する。
- 5 公民館・社協・町などの事業に共催・協賛などで参画することで、活動範囲を拡大させ、会員の交流機会を増加させる。

■グループ2：役員・組織

- 1 役員のなり手不足解消のための具体的方法を模索する。シルバーサークルのように負担を分担しあえる仕組みを構築する。
- 2 小規模単老クの組織維持と町老ク連への参加継続のために話し合える場を設け、お互いの課題を率直に議論する場を活用する。
- 3 単老ク女性の参加意欲を高める方策を考察しながら、個別に丁寧に対応する。
- 4 現行の10ブロック制について、単老ク間の編成替えも視野に、各ブロック間の人員数の不均衡の是正をまず進める。
- 5 現行の町老ク連の役員配置、特に男女比を固定している運営委員について、将来的な撤廃に向けて、人数や選出方法について十分な検討を加える。

■グループ3：会員・会の名称

- 1 単老クのない地区の該当者の町老ク連への直接加入、すなわち個人会員を受理できる受け皿を整備する。
- 2 町老ク連の名称について、その改称あるいは併称に向けて、会員の意見を取り入れ審議する組織で運用方法を議論し、具体的に愛称適用に向けて作業する。
- 3 若手該当者の加入拒否の要因に対して、機会を通じて緻密に説明するなど老ク加入を促進するために、町や社協等とも相談しながら具体的な加入促進の方法を議論し実行する。
- 4 老ク加入年齢の引き上げなどについて単老クとも意見を調整し、必要に応じて柔軟に対応できるようにする
- 5 高齢会員に対する名誉会員など処遇面で、また高齢会員や施設入所者などの会費減免など会費面で、適切と思われる措置を単老クと連携して採る。

■グループ4：全体的な意見提言

- 1 魅力ある老ク・生きがいを感じる老クを体感できるように、町老ク連の広報活動をさらに充実させる。町老ク連の広報紙の町内全戸配布も視野に検討する。
- 2 各自治会と単老クとの繋がり、地区の公共施設の清掃などで補完し合う関係にあることも多い。竜王町自治会連絡協議会と町老ク連との繋がりには現実にはあまり多くないが、この関係をより密にし、親密な情報交換の場を設ける。
- 3 町内の多くの組織や町外市町の老ク連、県老ク連などとの交流を積極的に進め、事業への参加や協力関係・協働関係を構築し、情報交換を密にする。



主催 竜王町老人クラブ連合会

第2回 シルバーカレッジ

2023年
2月11日(土)
開演:14時
(開場:13時30分)

トークショーと講演

演目「竜王・近江牛講演」

会場:竜王町公民館 ホール

参加資格:竜王町老人クラブ連合会会員

参加人数:150名(定員中97名参加)

講師 四代目
玉田 玉秀齋

講演とは・・・
講演は江戸時代初期に、生活に窮した漁人や職半農道が『太平記読み』等をして、投げ扇を売ることが始まりだそうです。台本を教会に置き換えておきながら、独特のリズムで話すのが特徴です。武勇伝や農村考、お家騒動、政敵から成程の生活を綴った世話物や噂のニュースを講釈するなど、題材を多様化しています。

講師玉田永教の神道講釈の流れをくむ玉田派の名跡。高校時代1年間スウェーデンに留学。4代目旭堂庵庵に入門。外国語講釈や音楽コラボ講釈、町おこし講演など、創作講釈も多数講演。1976年大阪生まれ46歳。

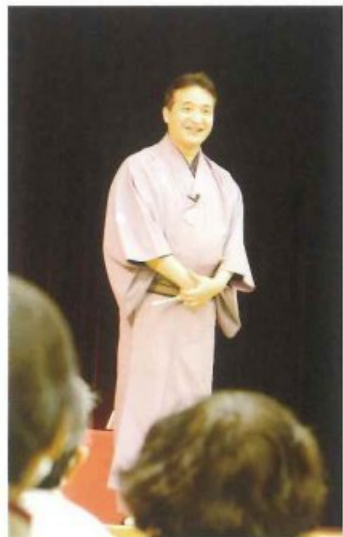
第2回 シルバーカレッジ開催

去る2月11日(土) 竜王町老人クラブ連合会主催の第2回シルバーカレッジが竜王町公民館大ホールにて、来賓、会員合わせて150名を超す出席を頂き盛大に開催されました。

シルバーカレッジの開催趣旨である「学びと娯楽等複合的且つ継続的な参加型事業」として、今回は講師で四代目玉田玉秀齋師匠をお招きして、演目「竜王・近江牛講演」と題してトークショーと本物の講談で楽しい時間を過ごしました。

師匠は留学経験を経て外国事情にも精通した中で、伝統の日本文化に戻ってこれたというお方で、前半のトークショーでは、あまり聞きなれない講談について、水戸黄門漫遊記などの逸話に絡めておもしろおかしく講談の成り立ちを教えてくださいました。

休憩を挟んで待ちに待った講談のスタートです。講談は釈台を張扇でたたきながら、独特なリズムで話すのが特徴です。今回の講談は、



わが町に関係の深い近江牛の誕生にまつわる話です。

江戸時代末期に竜王町山之上で生まれた竹中久次は、文明開化の中、明治初頭に東京で近江牛を流通させ近代畜肉市場の礎を築いた人物ですが、商才にたけた彼の若いころの苦勞話などを、張扇でたたきながらユーモアたっぷりにお話して頂きました。

講演終了後、会員からはコロナ禍でなかなか外出する機会が少ない中、このような企画をしていただき、「久しぶりに疎遠となつていたり人や友人に会えてリフレッシュすることができた」と言う声を聴かせていただくことができました。

竜王町老ク連では、次年度もさらに多彩なプログラムで、会員のみなさんに多くの学びと、輪と笑いとを提供していきたいと考えていますので、プログラムへのご意見・ご提案などとともに、皆さんのシルバーカレッジへのご参加をお待ちしています。

第15回

竜王町老人クラブ大会

第15回竜王町老人クラブ大会は、10月21日（金）竜王町公民館1階ホールでコロナ感染対策を確実に実施して、3年ぶりに規模を従来に戻しての開催となりました。

第1部の式典では、大野会長の挨拶の後表彰に移り、優良老人クラブ・東出老人クラブ、金



婚者は17組中、9組の参加があり祝詞を受けられました。

その後、竜王町西田町長、竜王町議会会貴多議長、社会福祉協議会勝見会長の来賓祝辞が述べられ、受賞者を代表して島田與三松氏の謝辞があり、大会宣言が採択され式典を終えました。

今回の大会で、竜王町老人クラブ連合会長表彰、祝詞を受けられた方は次の通りです。

(敬称略)

●優良老人クラブ

東出老人クラブ

●金婚者祝詞

玉本 敏章・民子

大野 稔 ・ 眞知子

松村 久男・眞里子

平田 幸雄・やす子

西村 米三・知余子

小河 忠博・恵美子

寺島 一夫・富美子
山本 幸治・一代
久野 弘 ・ 寿美子
三崎 和男・初子
寺本 隆 ・ 泰子
澤 康彦・兼子
高橋 秀男・八重子
島田與三松・多美枝
寺島 定男・恵美子
杉本加寿男・千鶴子
松林 久義・しづ子



第2部の講演では、「笑いと健康について楽しく学ぶ」と題し、京大卒の異色の大道芸人として全国で活動されている「たつきゆうさん」より講演がありました。



最初は、大道芸としてボール、ピン、三角ポールなどを使用してジャグリングが披露され、その成功に大きな拍手がありました。

その後、笑いは人に伝染し周囲を明るくし人とのつながりを実感でき自分も幸せになれる効果があること、フレイル予防では運動をするためにどこかにかける習慣を作ること、趣味や好きなことを気軽に楽しめる活動を続けていくことが必要であるとお話頂きました。

その後、金婚者には記念撮影をし、盛会裏に大会を終えました。

優良老人クラブ

表彰を受けて

東出老人クラブ会長

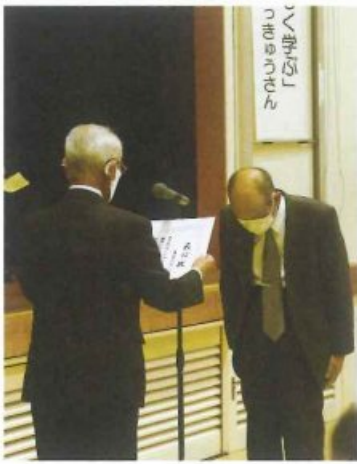
寺島 幸一

去る10月21日、竜王町公民館において開催された第15回竜王町老人クラブ大会で、東出老人クラブが「優良老人クラブ」として会長表彰を受けて頂きました。

この受賞は当老人クラブの諸先輩の日々の地道な活動の積み重ねによるものだと思っております。

人生百年時代を迎えて、定年の延長などでまだまだ現役で働く会員が増加している中、会員数の維持に向けて積極的な勧誘を進めたいと考えています。

この受賞を契機として会員が一つとなって満ち足りた活動に繋げていきたいと思っております。



謝 辞

西出 島田 與三松

金婚者を代表して一言お礼を申し上げます。

菊かおる季節を迎えた去る10月21日に令和4年度竜王町老人クラブ大会の式典の中で、私共結婚50年を迎えました17組の夫婦のために盛大な金婚の催しを執り行って頂きまして誠にありがとうございました。17組の夫婦を代表いたしました心より厚くお礼を申し上げます。

私も会社のこと仕事のことのみの日常を繰り返していたことが思い出されます。家庭のことは妻にまかせきりでした。最近のメディアで知る夫の子育てや主夫業は想像もつかない時代でした。

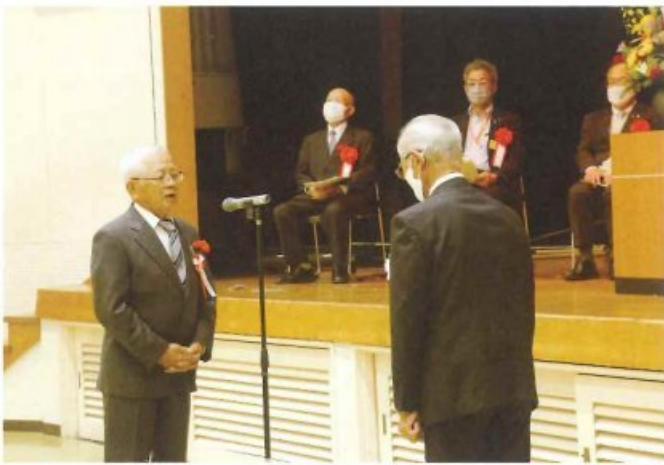
歳月が流れ我が家でも妻が仕事をできるようになり、私も料理は好きな方でしたので台所に立つことが多くなりました。定年

とともに主夫業をまかされることが多くなりました。

二人の子供達も成人しそれぞれに家庭をもち親としての責任を果たせたかと思う時、自分は80歳を超えていました。

振り返りますとその時々のはありましたが夫婦共健康で幸せな50年目の今日を迎えられたことに周囲の皆様のお陰、御先祖様のお陰と手を合わせております。

また、何よりも竜王町老人ク



ラブに加入させて頂いておりましたので、今日の輝かしい祝典に参加させて頂けたことに感謝し厚くお礼を申し上げます。

これからの人生を趣味のグラウンドゴルフを楽しみ自分で出来るボランティア活動に精を出していきたいと思っております。

末筆になりましたが、竜王町老人クラブの発展をご祈念申し上げます。

第30回老ク連主催グランドゴルフ大会開催

去る11月2日(水)第30回老ク連主催グランドゴルフ大会を開催しました。各字でチーム数を制限した形でしたが、それでも46チーム、選手と応援者を合わせると304名と多くの参加者を得ました。

日々在所の中で週2回程度練習されるメンバー6名がチームを作りチーム対抗で競いました。



日頃の練習成果を出すべき皆さん一生懸命頑張って戴きました。結果、栄えある優勝は岡屋Dチーム、準優勝は須恵Aチーム、第3位は岡屋Aチームとなりました。入賞されたチームの皆さんはおめでとうございます。入賞されたチームの皆さんは12月14日(水)近江八幡・日野・竜王で構成する県第3ブロック連絡調整会議での第12回グランド



ゴルフ大会&ニュースポーツ講習会に竜王代表として参加戴きました。

グランドゴルフは高齢者のスポーツとして何ゲームか行うと適度な運動になりますし、グランドゴルフを通じていろんな人と交流が図れます。また、スコアと言う目標が持てます。

高齢者のスポーツとして素晴らしいスポーツだと思います。



**第30回
グランドゴルフ大会**

優勝 岡屋Dチーム
準優勝 須恵Aチーム
第3位 岡屋Aチーム



未だの方はぜひ始められたらと思います。

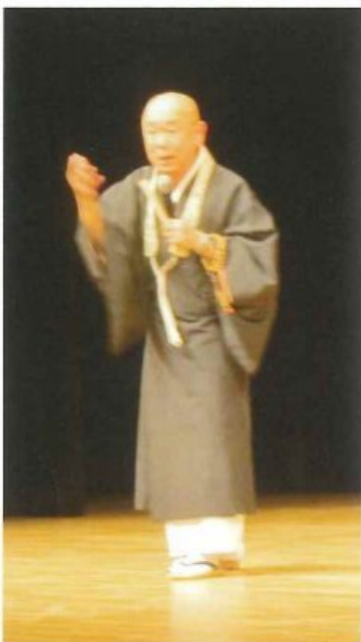
第61回 滋賀県 老人クラブの開催

滋賀県老人クラブ大会が令和4年11月16日(水) 栗東芸術文化会館さきらで「のばそう！健康寿命、担おう！地域づくり」をテーマに開催されました

感染対策に気を付けながら、昨年よりは大幅に多く約300名の会員の参加の下に行われました。来賓として滋賀県健康医療福祉部市川忠稔部長(知事代理)、野村栗東市長他二名の参加があり、松田県老ク連会長の挨拶の後、表彰に移りました。

最初に県知事表彰が老人クラブ育成指導功労者五名、優良老人クラブ4団体に、県老ク連会長表彰が老人クラブ育成功労者16名、優良老人クラブ10団体、永年勤続者1名にそれぞれ授与され、優良老人クラブ表彰では、10団体を代表して島老人クラブ岡田会長が受けられました。

その後、滋賀県知事メッセージの代読、栗東市長の来賓祝辞があり、休憩を挟んで講演に移りました。



た。講演は、日野町音羽の雲迎寺住職、久志則之氏で、「人生100年時代 笑いの効能で長生きしよう」で行われました。久志氏は、笑福亭鶴瓶の門下生で6年前に独立され芸名を笑福亭瓶太から「てんご堂雅楽」に改められたフリーの落語家でもあります。トークショーの後、鶴瓶直伝の笑いに笑いを誘う落語があり時間を忘れて楽しんだ90分でした。閉会の挨拶では、大野県老ク連副会長(代表理事)が締めくくられ、クラブ大会は終了しました。因みに竜王町老人クラブ大野会長は今年度から県老人クラブ連合会の筆頭副会長を務められています。

県老人クラブ大会 優良老人クラブ 表彰を受賞して

島老人クラブ会長

岡田 文次

今般、栄誉ある県老人クラブ連合会会長賞の優良老人クラブ表彰を賜りました。これは町老人クラブ連合会本部役員の皆様のご指導・ご支援を賜った結果と深く感謝し、恐縮しております。

さて、島老人クラブは自治会総人口が70名前後の小集落で、老人クラブ加入者は29名の弱小老人クラブです。こういう状況下、「健康・友愛・奉仕」の老ク基本方針を体し、小さい乍らも加入率は90パーセントを超え、強固にまとまって活動をしています。具体的には



- ①健康で明るく高齢期を過ごすために健康寿命を伸ばす。つまり自分の事は自分でするグラウンドゴルフ・夏場のラジオ体操など健康づくり活動
 - ②健康で動ける人は地区グラウンド・観音堂・里道などの共用施設維持の奉仕活動
 - ③地域・隣人との三世代交流具体的には七夕飾り・ふれあいの集い・クリスマスツリー飾りなどへの積極参加です。
- 島老人クラブとしては①自分の事は自分でする健康づくり②明るく、笑い声が聞こえる老人クラブ活動③お互いに気遣える地域友愛活動④自らの体力に合った奉仕活動に引き続き取り組んで参ります。

県老ク連第3ブロック
連絡調整会議主催

グラウンドゴルフ

大会に参加して

副会長 栗場 義廣

去る12月14日(水)に竜王町総合運動公園ドラゴンハットに於いて実施しました。

午前中のグラウンドゴルフでは近江八幡市6チーム、日野町3チーム、竜王町4チームの78名の選手と見学者を含めて93名が参加され、日頃の練習成果を出すべくトータル3ゲームで熱戦を繰り広げました。熱戦の結果、優勝は竜王町の大野稔さん、準優勝は竜王町の谷口栄治さん、第3位は竜王町の三崎喜雄さんで、地の利を生かして竜王町で独占する形となりました。



午後にはニースポーツ「モルック」の体験講習会を県から指導員3名に来て頂いて実施しま

した。モルックという棒を投げスキットルという棒を倒し、その棒の倒れ方により点数を獲得し、他のチームより先に50点ちようどを目指します。正確に投げる技術に加え、どのスキットルを狙うか、他のチームが何を狙っているか、作戦や駆け引きあるのも楽しいゲームです。皆さんが童心に帰って黙々とスキットル投げ一喜一憂されて「モルック」のおもしろさに惹かれた体験講習会でした。



健康教室および交通安全教室開催

本年度も、去る12月7日(水)

に竜王町公民館ホールにおいて、健康教室及び交通安全教室を本部役員さんはじめ単位老人クラブ会長、単位老人クラブ女性部長さん50名余りの参加を頂き開催させて頂きました。

健康教室では、「認知症の予防について」をテーマに、町福祉課(地域包括支援センター)認知症地域支援推進員の山添明美さんよりパワーポイントを使って講話をいただきました。

認知症の予防&進行の予防の為には、ストレスを溜めないこと、いくつになっても好奇心を失わず、新しいことにチャレンジすることが必要だと教えてい



ただきました。

交通安全教室では、近江八幡警察署交通課中原巡査より、「高齢者の交通安全について」映像機器を使って横断歩道を渡る疑似体験を受け、歩行者を取り巻く環境で事故に遭う頻度に差があることを学習しました。また、最近の事例等を交えながらお話をいただきました。

引き続き、竜王駐在所大山警部補より年末に向けて多発が予想されている「オレオレ詐欺」について最近の事例を交えながらお話をいただきました。



竜 寿 冠 叻

開 卷 令 和 四 年 十 一 月 二 十 五 日 (金)

企 画 竜 王 町 老 人 ク ラ ブ 連 合 会

● 多 評 通 り 高 点

- 一 満たされて 卒壽の暮し 家族愛 ツユ子
- 二 農が好き 沃野の風が 性に合う 美津子
- 三 満たされて 甘き乳の香寝むる吾子 文恵
- 四 農が好き 土と対話の 無の時間 芳子
- 五 歩が軽い 杞憂に過ぎた悩み晴れ 正二
- 六 灯が恋し ありし日しのお対茶わん 松江
- 七 満たされて 今円熟の 時を知る 保
- 八 農が好き 食を支える 自負がある 正二

● 二 評 通 り 高 点

- 一 山河呼ぶ 我が故郷は 四季豊か 芳子
- 二 満たされて 卒壽の暮し 家族愛 ツユ子
- 三 山河呼ぶ 和音楽でる 里風情 美津子
- 四 満たされて 平均寿命 ヒヨイと飛ぶ 郁子
- 五 農が好き 沃野の風が 性に合う 美津子
- 六 農が好き 土と対話の 無の時間 芳子

● 三 松 庵 凡 詠 宗 匠 選

- 七 歩が軽い 後期高齢 迎え撃ち 喜代美
- 八 歩が軽い 杞憂に過ぎた悩み晴れ 正二
- 天 満たされて 卒壽の暮し 家族愛 ツユ子
- 地 農が好き 沃野の風が 性に合う 美津子
- 人 山河呼ぶ 父母の姿を 匂にみる ひろこ
- 二 満たされて 昭和を生きたご褒美か 松江
- 三 歩が軽い 杞憂に過ぎた悩み晴れ 正二
- 四 灯が恋し ありし日しのお対茶わん 松江
- 五 満たされて 今円熟の 時を知る 保
- 六 歩が軽い OK感じたプロポーズ 弥寿男
- 七 農が好き 土に汚れて生き甲斐に 恵美子
- 八 農が好き 日々の愛育 裏切らず 弥寿男

● 西 村 吟 雪 宗 匠 選

- 天 山河呼ぶ 和音楽でる 里風情 美津子
- 地 満たされて 悠々自適 風優し 正二
- 人 歩が軽い 後期高齢者 迎え撃ち 喜代美
- 二 農が好き 声なき土に 神秘抱く 花子
- 三 灯が恋し 先祖を慕う 墓参り 茂

----- 私 々 ち は 、 竜 王 町 老 人 ク ラ ブ 連 合 会 の 活 動 を 応 援 し て い ま す -----



(有)徳本輪業
自動車販売・修理

車検・保険・板金
カークリーニング
バスレンタカー



ケータイで
ピッ



竜王町岡屋768-4 TEL:0748-58-0175 営業時間 8:30~18:00



平田歯科医院

HIRATA DENTAL CLINIC

一般歯科・歯科口腔外科
小児歯科・矯正歯科

〒520-2531 竜王町山之上3456

ご予約・お問い合わせは

☎ 0748-57-0600

http://www.hiratadental.com



●安井弥衣宗匠選

四 歩が軽い 杞憂に過ぎた悩み晴れ 正二
 五 灯が恋し 心の闇を 差す明かり 米子
 六 山河呼ぶ 童謡聞けば 心濡れ ひろこ
 七 農が好き 沃野の風が 性に合う 美津子
 八 満たされて 白寿の山河 命映ゆ 一也
 天 満たされて 何より健康 我が宝 恵美子
 地 農が好き 大地の恵み 感謝して 厚子
 人 山河呼ぶ 大自然にと 招かれて 和男
 二 農が好き 生き甲斐楽し励む日々 敏枝
 三 山河呼ぶ 和音奏でる 里風情 美津子
 四 満たされて 何時も感謝の念を持つ 紀子
 五 歩が軽い 五感を撫でる風清か 保
 六 農が好き 沃野の風が 性に合う 美津子
 七 山河呼ぶ 故郷懐かし 母恋うる 厚子
 八 歩が軽い 医師の一言晴れた帰路 美津子

●小森和美宗匠選

八 歩が軽い 医師の一言晴れた帰路 美津子
 七 山河呼ぶ 故郷懐かし 母恋うる 厚子
 六 農が好き 沃野の風が 性に合う 美津子
 五 歩が軽い 五感を撫でる風清か 保
 四 満たされて 何時も感謝の念を持つ 紀子
 三 山河呼ぶ 和音奏でる 里風情 美津子
 二 農が好き 生き甲斐楽し励む日々 敏枝
 人 山河呼ぶ 大自然にと 招かれて 和男
 地 農が好き 大地の恵み 感謝して 厚子
 天 満たされて 何より健康 我が宝 恵美子
 八 満たされて 甘き乳の香寝むる吾子 文恵

●牟礼庵流石宗匠選

人 山河呼ぶ 我が故郷は 四季豊か 芳子
 二 農が好き 土と対話の 無の時間 芳子
 三 歩が軽い 老後は静かな 田舎道 花子
 四 農が好き したたる汗は実を結ぶ 芳華
 五 歩が軽い やっと手にした新の靴 初子
 六 灯が恋し 久方振りの 里の道 敏枝
 七 山河呼ぶ 樹々百態に 妙がある 博美
 八 農が好き 妻に授与する 皆勤賞 義広

天 満たされて 平均寿命ヒョイと飛ぶ 郁子
 地 山河呼ぶ 我が故郷は 四季豊か 芳子
 人 農が好き 土と対話の 無の時間 芳子
 二 山河呼ぶ 都会の疲れ 癒し旅 重雄
 三 灯が恋し 秋の夕暮れ侘びしくて 紀子
 四 歩が軽い 弾む心で 里帰り 恵美子
 五 農が好き したたる汗は実を結ぶ 芳華
 六 満たされて 孫の笑顔で 苦勞飛ぶ 弥寿男
 七 山河呼ぶ 故郷懐かし 母恋うる 厚子
 八 灯が恋し 縁が無かった都会には 紀子

私たちは、竜王町老人クラブ連合会の活動を応援しています



金谷歯科医院

・一般歯科(むし歯 歯周病) ・矯正歯科 ・小児歯科
 ・審美治療 ・ホワイトニング ・予防 クリーニング

〒520-2531

竜王町山之上4599

☎ 0748-57-8287

https://www.kanaya-shika.com



■懐石料理 ■仕出し ■弁当

仕出し、弁当等
ご予算に応じます。



蒲生郡竜王町大字山之上2323-1

☎ (0748) 57-0663

会員からの投稿

随筆

いつもそばに本を

岡屋 一女性

世帯盛りは、多忙で本はなかなか見ることなく、気にもしなかった。子育て終り、孫育て終り、今になって余裕が出来、読書が好きになり、テレビは見たら終りですが、本は二度三度と読み返しが出来好きな所はチェックして残しています。

コロナで外出できない時も、たいくつせずに読書をしていました。病院へ行く時も本を持って行き読ませて頂いています。新聞は朝一番に読ませて頂いています。ポケ防止の為にこれから冬になり外へ出られない日は、読書して日々元気で過ごそうと思っています。

川柳

西山 堀井 平

笑顔です

マスクの写真 さびしすぎ

内女房

何を食べても 太り過ぎ

口だけは

元気な俺の Vサイン

隣なり人

心の奥に ある野心

長い昼寝

頑固な夜が 動かない

化粧より

笑顔光る 人が好き

俳句

西山 堀井 絹枝

カラフルな

マスクで心軽くする

リビングに

昭和な二人会話合う

納豆の 粘り決断 揺るぎない

小口 古株 幸男

コロナ禍で

忍耐強くなりました

おしゃべりが

無言黙視で直りました

遊び好き

コロナ自粛で直りました

マスクづけ

スッピン顔に慣れました

コロナ禍は

いつ迄続くもう慣れた

人見知り

マスクのお陰で堂々と

鬼瓦

マスク付ければエビス顔

原稿募集

次回発行の広報(第95号)の原稿を募集します。

普段思うこと、私の自慢、旅行記、趣味活動等なんでも結構です。会員の皆様からの楽しいご投稿をお待ちしています。

◆原稿用紙は「町老ク連」専用用紙、もしくは市販の原稿用紙400字詰めを使用。用紙が必要な方は町老ク連事務局までご請求ください。

◆原原稿は、題名、住所、氏名を含め400字以内、写真があれば一緒に提出してください。

なお、パソコンを使用される方は、一行に14文字でお願いします。データ保存(原稿・写真)されている場合は、その機器をお貸しください。Eメールでも構いません。

アドレス: ryuo-roukuren@zd.ztv.ne.jp

◆俳句・短歌・川柳・詩等は用紙を問いません。ご自由に投稿ください。

編集後記

新しい年を迎えさせて頂きました。

会員の皆様、日々ご健勝で何よりです。年2回発行の「竜樹の友」へ興味・関心を持っていただきお読み願っていること大変嬉しく思います。大野会長の下2年間勤めましたが、新型コロナウイルス感染症拡大により大事な行事が中止となりました。令和4年度も感染防止を念頭に置き、親睦旅行・初のシルバークレッジ・ゲートボール大会・グランドゴルフ大会そして第15回の老人クラブ大会を執行させて頂きました。みんなで考え作り上げた行事であり、感慨深いものがあります。

令和5年度から新たな方々のお力でスタートしていきます。会員の皆様の温かなお心を老人クラブへ結集していただきますようお願い申し上げます。2年間でありましたがご支援ご協力いただきありがとうございます。

(社会活動部一同)



●インキ:環境配慮型インキ(植物油インキ or ノンVOCインキ) ●印刷:有害な廃液を排出しない水なし印刷